

会 議 記 録 書

件 名	平成29年度第2回さむかわ次世代経営者研究会
日 時	平成29年12月 6日 (水) 17:30~19:30
場 所	寒川町商工会 大会議室
出席者	別紙出席者名簿のとおり
内 容	<ul style="list-style-type: none"> ・スミファ (すみだファクトリーめぐり) 見学報告 ・今後の研究会の進め方について
記 録	<p>1. 開 会 2. 議 題</p> <p>(1) スミファ見学報告</p> <p>研究会員の中で有志の参加者を募り、(株)ムラタから3名、大成化光(株)1名、商工会2名、高島コンシェルジュの計7名で11月25日 (土) に参加した。</p> <p>村田社長：スミファに参加しているどの企業にも共通している点が、自分たちの仕事をより付加価値の高いものにしようとしていると感じた。仕事に対する熱意が形になっていた。スミファに参加している企業は「フロンティアすみだ塾」の卒業生が行っていることから、さむかわ次世代経営者研究会も現時点では明確な目標は定まっていないが「フロンティアすみだ塾」は多きに参考に出来ると思えた。 今後、町内でもオープンファクトリーと産業まつりをコラボしても良いと思った。</p> <p>大森社長：スミファに参加して、さむかわ次世代経営者研究会に参考になると思ったことが3点あった。今後の活動においてこれらを意識していきたいと思った。</p> <ol style="list-style-type: none"> 1. 横のきずなが強いのは強み 2. やる気にあふれた経営者は魅力的 3. 若い人でも魅力ある工場では働いてくれる。 <p>商工会：「フロンティアすみだ塾」のネットワークはOB会なども組織されており、ビジネス上のお付き合いからイベントの運営まで強いきずなが生まれている。業種によってさまざまであるが、高付加価値施策や他社との差別化には様々な形があり、直接自社に取り込める策ではないにしろその根底にある思いを共有することで、自社での改善策のヒントやモチベーションのアップにつなげることが出来るのではないかと感じた。商店街の振興事業などで大学生を巻き込むことで、学生にとっては実地経験、運営側には、人的資源の確保ができるWIN-WINの体制が築かれていた。寒川で実現するには活動を単位として認定していただくなど、教授や大学事務局との調整といったハードルがあるが一つの方法として参考になった。 オープンファクトリーのメリットはビジネスマッチングや観光イベント、地域住民との相互理解など様々な効用があるが、どの方向性に進むにせよ。基盤となるのは単なる取引関係にとどまらない、経営者同士の相互理解が進んでいるネットワークの構築が重要であると感じた。</p> <p>(2) 今後の研究会の進め方について</p> <p>高島氏：経営者研究会として、気づき⇒知識の習得⇒経験値の習得という流れに沿って、より健全な経営を続けていけるようにしてほしい。自分に話を置き換えて考えてみる。懇親会を通じて横のつながりを育んでいくという流れを大切にしたい。今後この研究会をどのような会にしていきたいと思っているか。また今年度3月までの間どのようなことを行っていききたいと思っていくか意見を聞きたい。</p>